



日刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
043 (222) 7207 番

93.9.7 No. 3854



小沢流 政治 構想
改悪

細川内閣の正体を暴く ①

『日本改造計画』に見る

小沢・細川・野望

自民党がやりたくとも
出まなうことに、着手



細川・小沢政権の際立った特徴は、連合、公明を完全に組伏せ、社会党を引き込み「連立内閣」を発足させ、小選挙区制↓改憲をより実現可能なものに近づけたということです。

細川内閣の行動原理は！

一言で言って小沢の『日本改造計画』路線にあるといえます。明解です。つまり、小選挙区制↓改憲(の基本政策を『改造計画』のうち出ししました。そこでは色々な言いまわしを

「改革」という名の反動的再編

小沢いわく

「今や時代は変わった。日本型民主主義では内外の変化に対応できなくなった。政治、経済、社会のあり方や国民の意識を改革する」

どうしように...

- ① 政治のり ダンプを確立する。
- ② 地方分権である。その他(今号では二点について限って検討)

化させ、あたかも「全党的総意」という見せかけでたぶらかし、「高支持率」の一因にもなっているといえる。実は歴代の自民党ですらやりたくとも出来なかつた反動的諸政策をドンドン進めるといふ、より悪質な内閣、それが細川連立内閣だといえま

②「地方分権である」とは何かな。

戦前型の民衆統治への回帰

政策の視点から行動を決定し実行する。「国連事務総長ガリの提起する「予防PKO」に沿って国連待機軍をつくるべきだ」としている。その中で、国際貢献についても「外国に奉仕する」という考えでなく日本が生きの

「このための活動とかんがえよ」と主張。「平和のための貢献」というペテンすらかなぐり捨て公然と国益第一、その為の「国際貢献」・自衛隊派兵の拡大を強調している有様です。

小沢は、「中央政府に必要な権限のほかは、すべて地方に委譲し、中央が身軽になり国家レベルの課題に集中する」「全国を三〇〇ほどの自治体に分割する」「教育委員会や公安委員会は地方レベルでなく国家が管理する」

ここでいう三〇〇とは、小選挙区制の区割りのことであり、選挙区を同時に、新たな行政支配単位にするというものです。まさに、戦前型の民衆統治のあり方そのものです。教育、警察を支配の道具にすると言言するに到っては戦前の天皇制国家そのものだといえます。

侵略と「挙国一致」体制確立、それが『日本改造計画』路線の中身なのです。

近衛文麿の七重が今



祖父・近衛文麿の性格と政治行動を学習

細川政権の登場は、戦前の近衛文麿の登場に酷似しているといわれています。

「近衛は若き貴公子宰相の登場というところで絶大な人気を背景に組閣するが、軍部の野望にもみくちやにされ結局「挙国一致」の掛け声の下、日本を奈落の底に突き落とす日米開戦への露払い役を果たした

た。近衛文麿が細川首相にダブるとすれば、さしずめ軍部は小沢・新生党です。」(ジャナリスト生田秀氏)

われわれは、二度と歴史の過ちを繰り返してはならない。連合路線と対決し、社会党の屈服を許さず、今秋季闘争に立ちあがろう